

わ く わ く

3月号

本 だ な



ぶんぼうぐ 『文房具のやすみじかん』

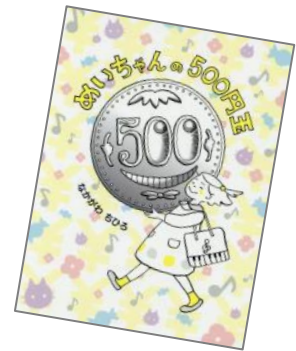
土橋正／文 小池壮太／絵 福音館書店
だれもないへやのつくえの上から、こえがきこえてきました。文房具たちのおしゃべりです。かつてにらくがきをはじめたえんぴつを、消しゴムがしんぱいそうに見つめます。文字をかいたり、けしたりするしくみをしょうかい。

えほん

1・2年生

K913 『めいちゃんの500円玉』

なかがわちひろ／作・絵 アリス館
めいちゃんが道でひろった500円玉が、とつぜん、はなしかけてきました。「オレさまでなんでも買いなよ。」というのです。スーパーへ行っためいちゃんは、たくさんのおかしをえらびますが……。



3・4年生



K933 『さかさ町』

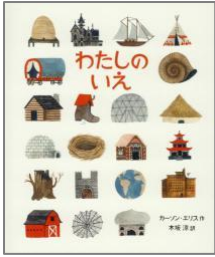
F. エマーソン・アンドリュース／作
ルイス・スロボドキン／絵 小宮由／訳 岩波書店
リッキーとアンの乗った汽車が事故にあい、知らない町の駅でおりにことになりました。そこでは、車が後ろ向きに走っています。よく見ると、かんばんも家もさかさま。その町は、なんでもさかさまの「さかさ町」でした。

5・6年生

K913 『へなちょこ探偵24じ』

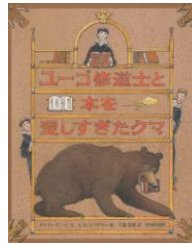
たんでい 齋藤飛鳥／作 佐竹美保／絵 童心社
しやちひこ 鯨彦がぐうぜん出会った探偵の「24じ」。あやしい人だと思っていたやさき、商店街でガラスが割られる事件が起きました。現場には証拠が残っていないのに、探偵の24じは、たちまちその謎をといてしまいます。





えほん

『わたしのいえ』
カーソン・エリス／作
木坂涼／訳
偕成社



えほん

『ユーゴ^{しゅうどうし}修道士と本を^{あい}愛しすぎたクマ』
ケイティ・ビービ／文
S. D. シンドラー／絵
千葉茂樹／訳 光村教育図書



『おとうふやさん』

飯野まき／さく 福音館書店
みっちゃんは、おとうふやさんで、水につけただいを
を見つけました。店のおじさんに、かたいだいずから、
やわらかいおとうふができることを聞いて、びっくり！
朝はやく^お起きて、作り方を見せてもらうことにします。

えほん

ちしきの本

K374 『三年二組、みんなよい子です！』

おしごとのおはなし 小学校の先生』
くすのきしげのり／作 下平けいすけ／絵 講談社
今日から新学期。もえのクラスのたんには、滝野先生
というわかい男の先生です。いつも元気いっぱいの先生
は、みんなのいいところを見つけてほめてくれます。
学校の先生のおしごとがよくわかる「まめちしき」つき。



K488 『ぼくはアホウドリの親になる』

写真記ひな70羽引っこし大作戦』
南俊夫／文・写真 山階鳥類研究所／監修 偕成社
アホウドリは、一度、絶滅^{ぜつめつ}しかけた^{うみどり}海鳥です。伊豆諸島の
鳥島^{とりしま}に生きていましたが、鳥島は、火山^{ふんか}が噴火^{ふんか}すること
もある危険な島でした。そこで、アホウドリが安全に暮ら
せるよう、ほかの島への引っこし作戦が計画されます。

ちしきの本

ちしきの本

K450 『ジオパークへ行こう！ 火山や恐竜に会える旅』

林信太郎／著 川野郁代／絵 小峰書店
ジオパークとは、「生きている地球を感じる」といわれ
ています。熊本県のジオパークは、船でしか行けない島にあり
ます。そこは、道のわきや草むら^{くまもとけん}をのぞくだけで、恐竜の化石
を見つけることができる「恐竜の島」なのです。



としょかんのまどぐちには、くみたてると本になる「わくわく本だな」もあるよ。

ホームページもみてね！〈編集・発行〉 富山市立図書館 富山市西町5番1号 電話 076-461-3200